保証書

本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。下記保証期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求め取扱店に修理をご依頼ください。

※取付日・お客さま・取扱店の欄に記載のない場合は、無効になります。

品名または品番

定量止水栓付サーモスタットバス水栓

保証期間	取付日
取付日より2ヶ年	年　月　日

お客さま	おなまえ		様
	おところ	おでんわ ( ) -	

無料修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「ラベル」などの注意書に従った正常な使用・維持管理状態で、保証期間内に故障した場合、無料修理いたします。
2. 無料修理をお受けになる場合、お買い求めの取扱店にご依頼のうえ、本書をご提示ください。
3. ご転居、ご贈答品などで、本書に記載の取扱店に修理を依頼できない場合、「ご愛用フォルダー」に掲載の、もよりの当社支社などにご相談ください。
4. 保証期間内でも、以下の場合、有料修理とさせていただきます。
   (1)使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷
   (2)温泉水・中水・飲用不可な井戸水利用による故障及び損傷
   (3)お買い求め後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる故障および損傷
   (4)火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害や異常電圧など、その他の事故および損傷の原因が商品以外にある場合
   (5)消耗部品の劣化に伴う故障および損傷
   (6)本書の提示がない場合
   (7)本書に取付日・お客さまのお名まえ・取扱店名の記入のない場合、あるいは字句の書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

本書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するものです。従って、本書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理など、ご不明の場合、お買い求めの取扱店またはもよりの当社支社・営業所にお問い合わせください。修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、製造打切後10ヶ年です。

年月日	損傷と処置	サービス担当者

取扱店（店名・住所・TEL）

株式会社INAX
愛知県常滑市鯉江本町　〒479
TEL:(0569)35-2700(代表)

GMS-0035(95060)

（裏表紙）

プレッツォシリーズ

BF-1195TL　BF-1195TR

定量止水栓付サーモスタットバス水栓

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

もくじ

●安全上のご注意

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⊘……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「指示した場所に触れてはいけません！」

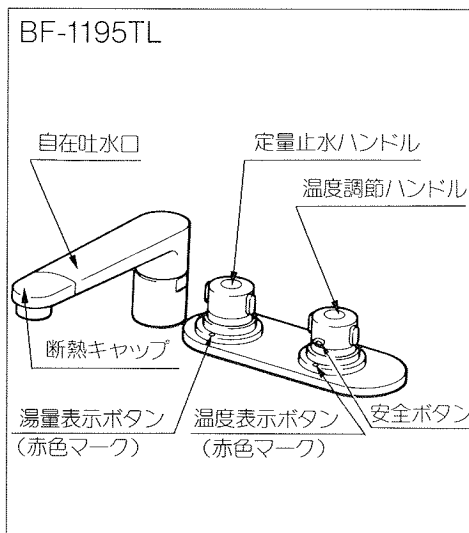
……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠注　意

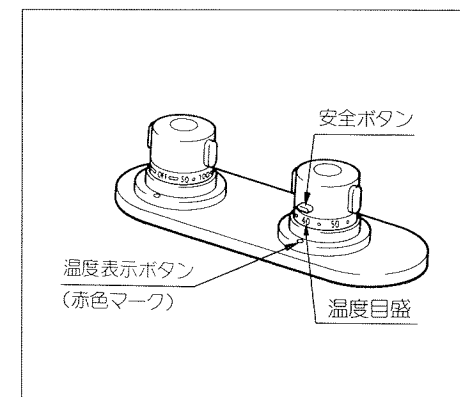
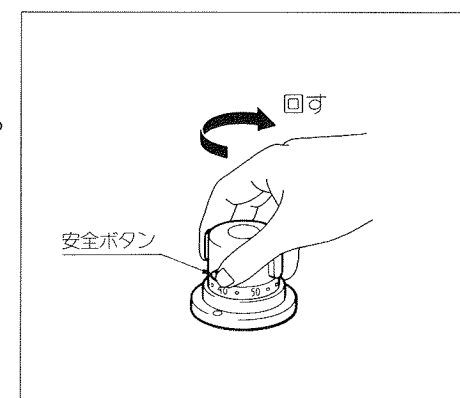
高温の湯をお使いのときには、吐水口（パイプ）は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。 ※ヤケドをする恐れがあります。	（接触禁止）
高温の湯をお使いの後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻し、少し流してから止めてください。 ※次に使用するといきなり高温の湯を浴び、ヤケドをする恐れがあります。	（指示）
温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐出してください。 ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。	（指示）
温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので温度調節ハンドルはゆっくり回してください。 ※ヤケドをする恐れがあります。	（指示）
修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。	（分解禁止）

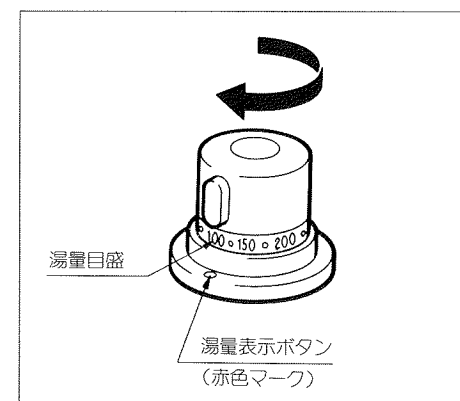
●特　長

●サーモスタットの働きで簡単に希望温度が得られます。
●サーモスタットの働きで安定した吐出温度が得られます。
●定量止水装置の働きで希望の湯量を吐出後、自動的に止水します。
●安全ボタン付で一度に高温側へハンドルを回せませんから、お子様でも安心してお使いになれます。
●断熱キャップ付ですから、熱いお湯を流している時でも安心して吐水口の向きを変えられます。

●各部の名称

●ご使用方法

●温度の調節

温度調節ハンドルの数字（温度目盛）は吐出温度を示しています。これを目安として温度目盛を温度表示ボタン（赤色マーク）に合わせてください。

※安全ボタンの働きで高温側に回していくと「40」の表示のところで一度ハンドルが止まります。40℃以上の吐出温度が必要な場合は、安全ボタンを押しながら回してください。

●吐出量の調節

(1)定量止水（自動止水）の場合
定量止水ハンドルの数字（湯量目盛）は、自動的に止まる湯量（単位：L）の目安を示しています。定量止水ハンドルを右(時計回り）に回して、希望する量の湯量目盛を湯量表示ボタン（赤色マーク）に合わせてください。

「100」以下の目盛に合わせるときは、一度「100」以上の目盛に回してから戻してください。

※そのまま「100」以下に合わせますと自動止水しない場合があります。

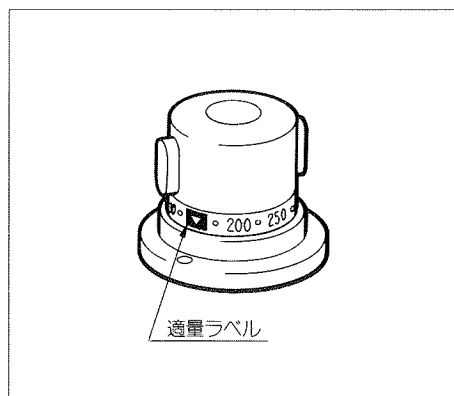
※途中で湯を止めたいときは、「OFF」の位置に合わせてください。

浴槽に適した湯量目盛を右表を参考にしながら、実際に試してから決めてください。

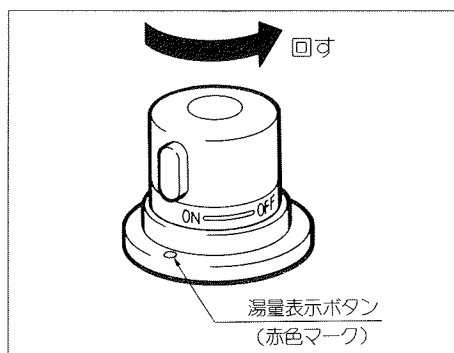
設定の目安

浴槽の大きさ	設定目盛
1人槽	約160
2人槽	約190
3人槽	約220

決めた湯量目盛のところに、同封の適量ラベルを張っておきますと、便利です。

※適量ラベルは、汚れや水分をよくふいてから張ってください。

(2)連続して吐出する場合

定量止水ハンドルを左（反時計回り）に回して、「ON」を湯量表示ボタン(赤色ボタン)に合わせてください。

定量止水ハンドルを「OFF」に戻さない限り連続して吐出されます。

●ご使用上の注意

●ガス給湯器と組み合わせて使用の場合

- 比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温にしてください。
- 能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。

  ※吐出量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。

  このときは給湯器の設定温度（能力切替付は能力）を少し下げてお試しください。
- ガス給湯器を使用の場合、最低作動流量（4L/分）を下回る流量で使用すると自動止水しない場合がありますので、次の点に注意してください。

  ※10号以上のガス給湯器と組み合わせる。

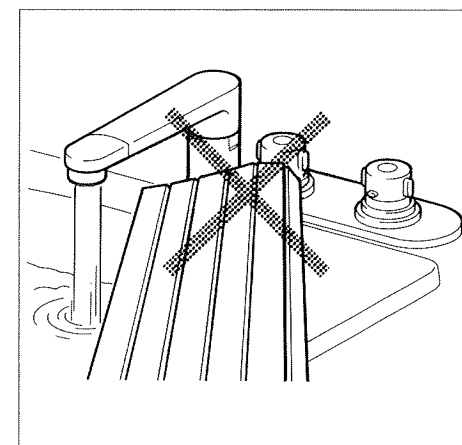
  ※能力切替付のガス給湯器では4L/分以上の流量が確保できるよう能力調節をする。

  ※4L/分は目安として普通の洗面器を30秒程度で一杯にできる流量です。
- 流量は30L/分としてください。

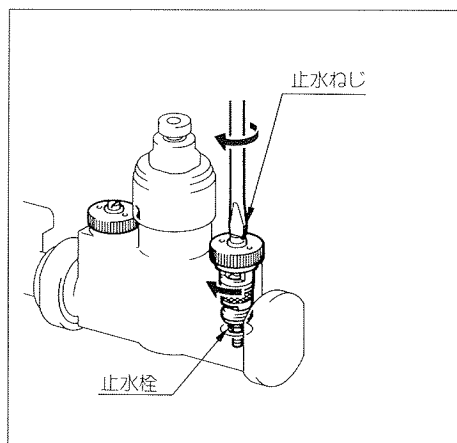
  ※計量精度を保証できません。

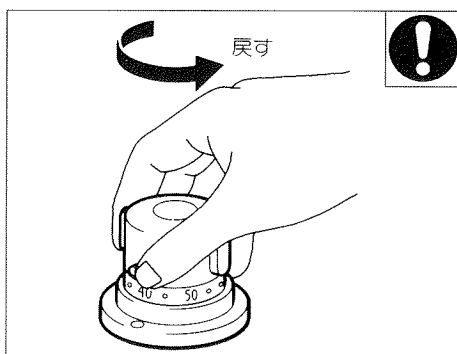
●定量止水ハンドルの回転妨げの防止

風呂フタなどを定量止水ハンドルに接触させたり、ぬれタオルをハンドルに掛けないようにしてください。

※定量止水時に、定量止水ハンドルがゆっくり戻りますが、この回転を妨げますと、自動止水しなくなったり、設定量をオーバーしたりします。

●止水栓の調節

止水栓で流量を調節できますが、極端に絞ると精度が悪くなったり止まらなくなったりします。
湯量目盛を「150」に合わせたとき、約10分で止水する流量でご使用ください。

※ハンドル、プレートの取外し方については「ストレーナーの掃除」の項を参照してください。

●高温の湯をお使いのときには、吐水口（パイプ）は高温になっています。直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。

●高温の湯をお使いの後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻し、少し流してから止めてください。
※次に使用するといきなり高温の湯を浴び、ヤケドをする恐れがあります。

●温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐出してください。
※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。

●温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので温度調節ハンドルはゆっくり回してください。
※ヤケドをする恐れがあります。

●修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガしたり、故障・破損の恐れがあります。

●お手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

●汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは、水ぶきしてください。
●水栓の表面を傷つける恐れのある以下のものは使用しないでください。
- クレンザー、磨き粉等の粒子の粗い洗剤
- 酸性洗剤、塩素系漂白剤
- ナイロンたわし、ブラシ等
- シンナー、ベンジン等の溶剤

●壁面のタイルなどをカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。

●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

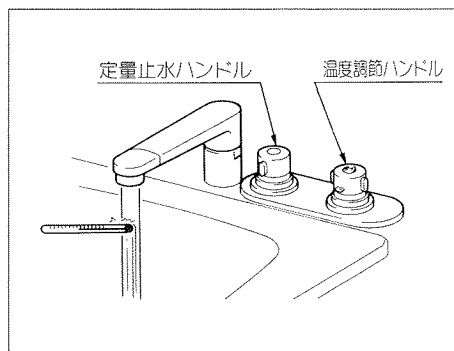
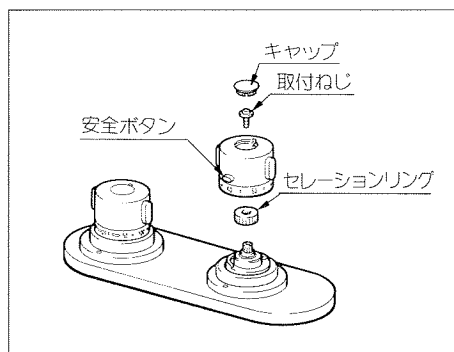
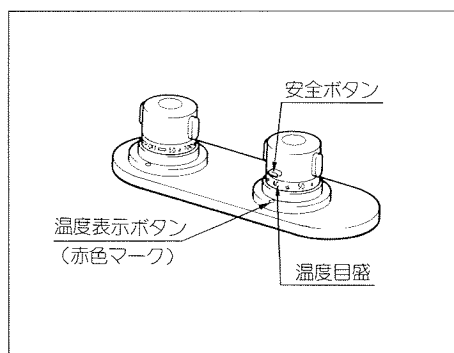
●吐出量が少ないとき
1. 湯側と水側の止水栓が十分開いていることを確かめてください。
2. ストレーナーのゴミ詰まりがないことを調べてください。（「ストレーナーの掃除」の項（P.10）を参照）
3. ガス給湯器と組合わせてご使用の場合、能力切替付のものでは適正能力にセットされていることを確かめてください。

●希望の温度が得られないとき
1. 湯側と水側の止水栓が十分開いていることを確かめてください。
2. ストレーナーのゴミ詰まりがないことを調べてください。（「ストレーナーの掃除」の項（P.10）を参照）

3. 給湯器から十分な温度（使用する温度より10℃以上高い温度）の湯がきていることを調べてください。

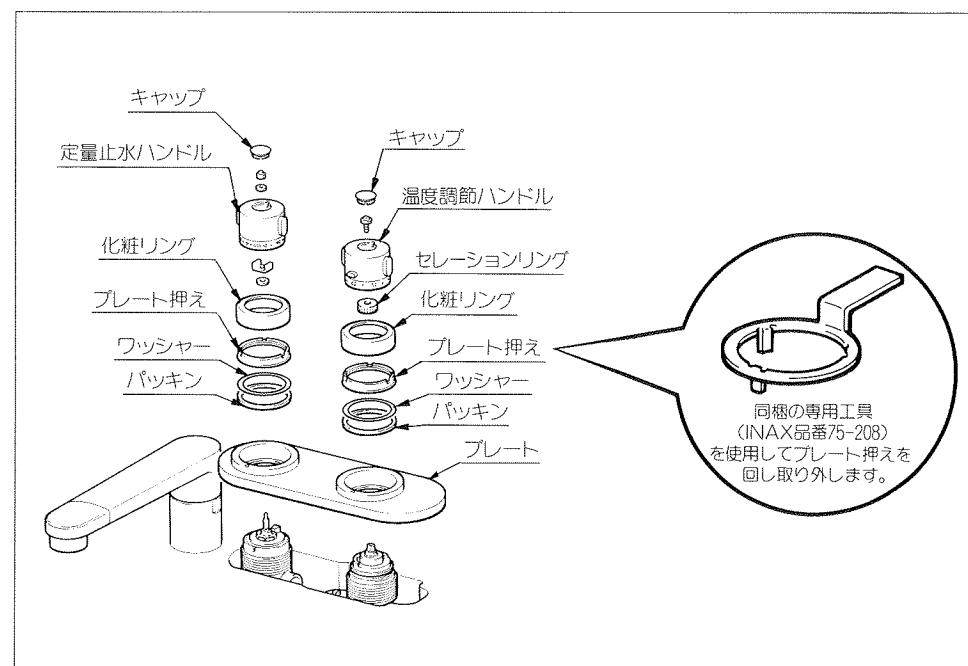
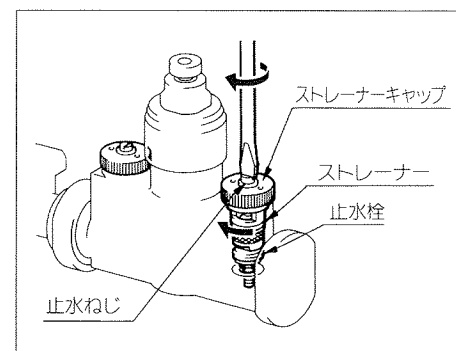
4. 1～3に異常がない場合は以下の手順で温度調節を行ってください。

(1)定量止水ハンドルを「ON」にします。
※このときの吐出温度が40℃であることを確認します。

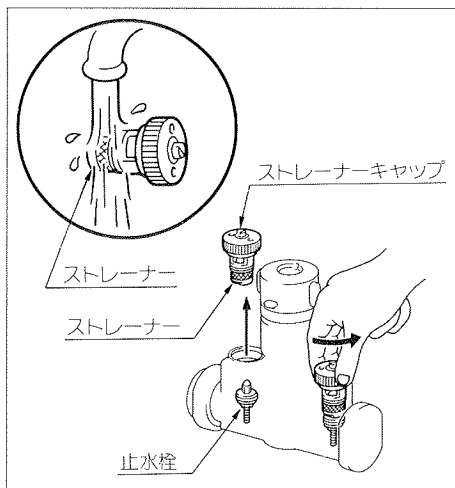
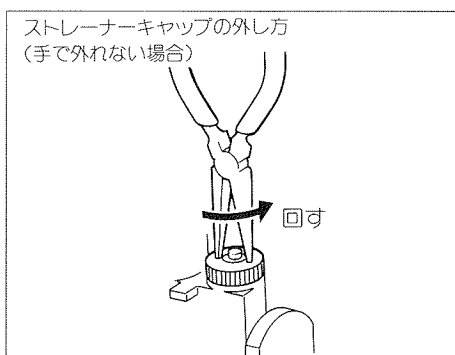
(2)吐出温度がずれている場合は、目盛に関係なく40℃になるよう温度調節ハンドルを回します。

(3)①吐出温度が40℃になったところで吐出を止めます。
②温度調節ハンドルを回転しないように注意して取り外します。

③温度表示ボタン（赤色マーク）に温度目盛の「40」を合わせてはめ直します。
※このとき安全ボタンの働きで、「40」で温度調節ハンドルが止まることを確認してください。

④取付ねじを締め、キャップを取り付けます。

●ストレーナーの掃除

ストレーナーのごみ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除してください。

1. 定量止水ハンドル、温度調節ハンドル、プレートを取り外します。

2. (1)湯側、水側の止水ねじを右（時計回り）一杯に回し、止水栓を閉じます。
(2)定量止水ハンドルを仮付けし、「ON」が正面にくるように合わせ圧抜きをします。

3. 温度調節ハンドルを元の位置に仮付けし、温度調節ハンドルを左右一杯に回して水が出ないことを確認します。

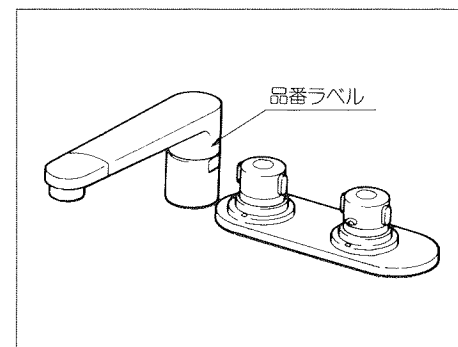
4. 定量止水ハンドルを必ず「OFF」が正面にくる位置に戻します。

5. ⑴温度調節ハンドルを右（時計回り）一杯に回し、右側（水側）のストレーナーキャップを左に回して外します。
⑵ストレーナーに付いたゴミを洗い流した後、元の位置に取り付けます。
⑶温度調節ハンドルを左に回し、左側（湯側）のストレーナーを同様に掃除します。

6. ⑴湯側・水側の止水ねじを左に回し止水栓を一杯に開いてください。
⑵定量止水ハンドルと温度調節ハンドルを取り外します。
7. 定量止水ハンドル、温度調節ハンドル、プレートを取り付けます。

※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店または当社支社やお客さま相談室へご相談ください。

●アフターサービスについて

●この商品は保証書付です。
保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
保証期間は取付日より2ケ年です。
※保証期間中でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

●修理を依頼されるときは再度本書を読んでいただきご確認のうえ、なお異常のあるときはお買い求めの取扱店に修理を依頼してください。
〔連絡していただきたい内容〕
- おなまえ・おところ・電話番号
- 商品名・品番（商品に表示）・取付年月日
- 故障の内容・故障の状況
- 訪問希望日

※保証期間内は保証書の規定に従って修理させていただきます。

※保証期間が過ぎているときは、修理によって機能が維持できる場合、お客さまのご要望により有料修理致します。補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後10ケ年です。
補修用性能部品とは商品の機能を維持するために必要な部品です。

●アフターサービス等についてご不明な点がありましたら、取扱店または当社支社やお客さま相談室等（連絡先はご愛用フォルダーに記載）へお問い合わせください。